



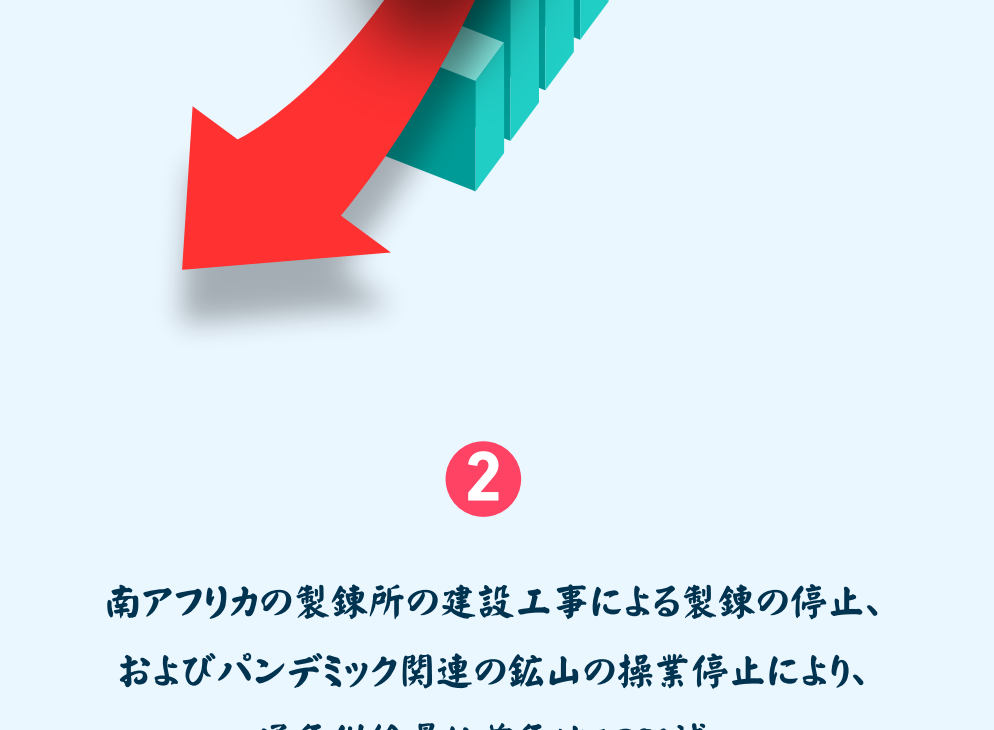
2020年第1四半期の予測

COVID-19の影響で、今季は需給ともに減少し、4トンの余剰となった。

需要は前年比51トンに5%(-3トン)減。
一方、供給は55トンに19%(-13トン)減。

2020年第1四半期の需給状況

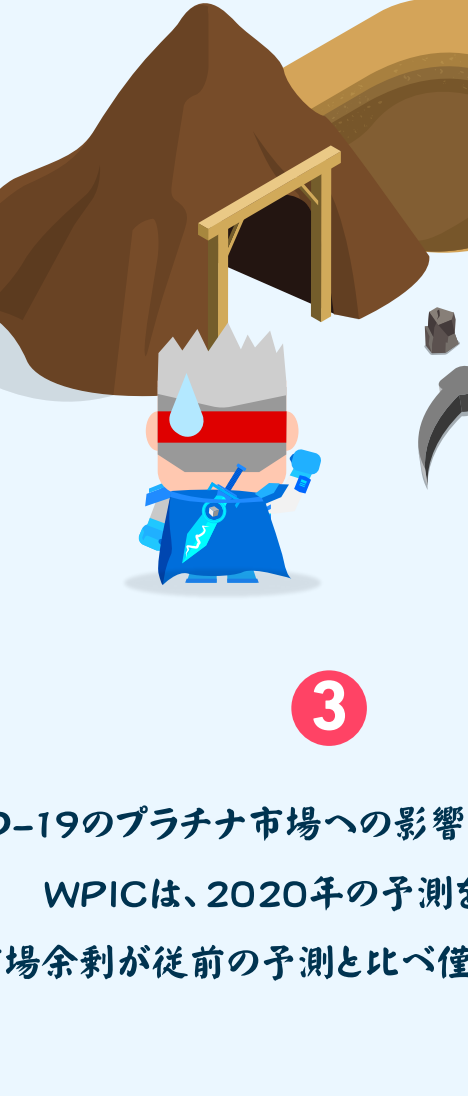
出所: Metals Focus



2020年通年予測

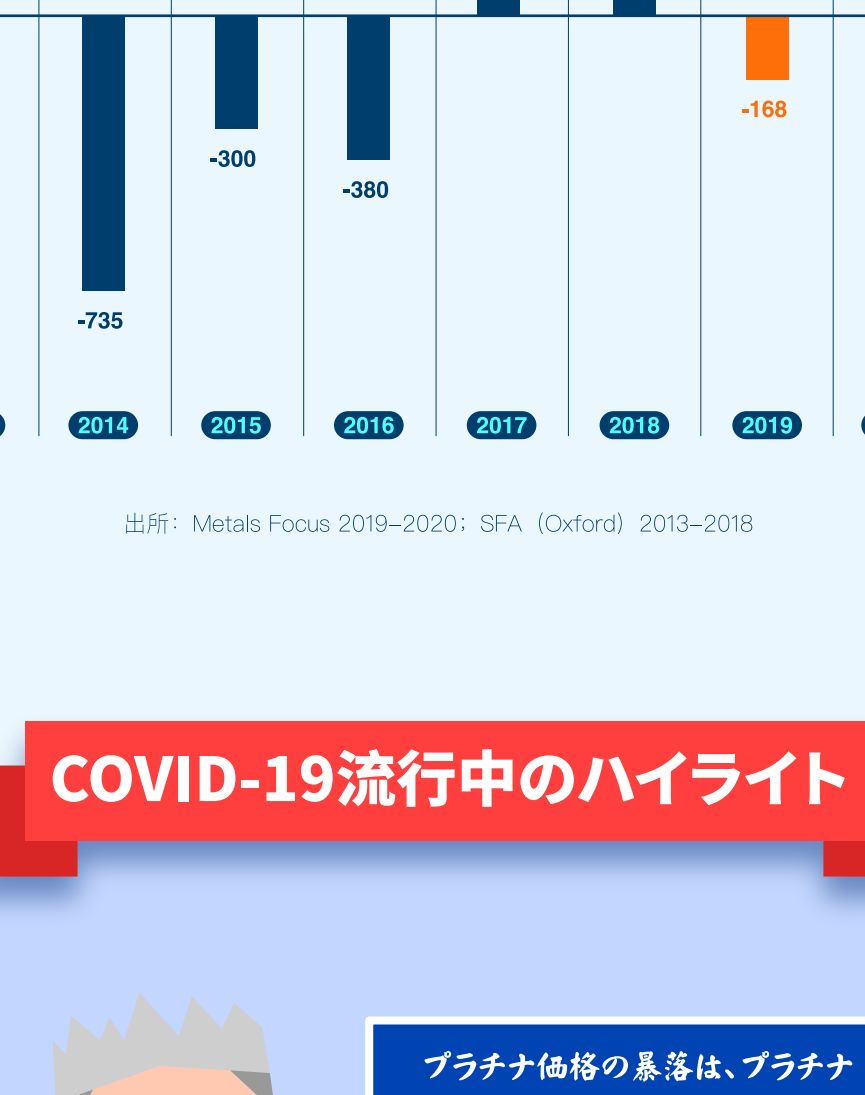
1

WPICは、COVID-19の影響で各分野のプラチナ需要は減少し、前年比18%も下落すると予測。



2

南アフリカの製錬所の建設工事による製錬の停止、およびパンデミック関連の鉱山の操業停止により、通年供給量は前年比13%減。



3

COVID-19のプラチナ市場への影響は予想よりも小さく、WPICは、2020年の予測を修正し、8トンの市場余剰が従前の予測と比べ僅か4トン高いとのこと。



2013～2020年上半期の需給地金ランス (千オンス)



出所: Metals Focus 2019-2020; SFA (Oxford) 2013-2018

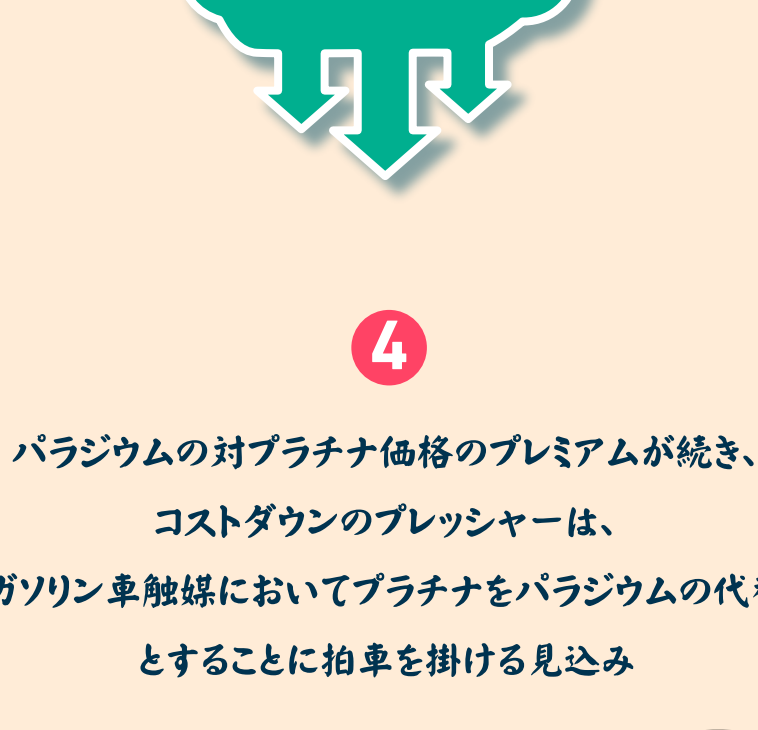
COVID-19流行中のハイライト

1

プラチナ価格の暴落は、プラチナ現物に対する強い需要を刺激した



日米のプラチナ地金やコインの需要は10トンに急増し、2019年4四半期の平均需要水準2トンに比べ、数倍に成長した。



2

今季、上海黄金交易所でのプラチナ売上は14トンで、2019年4四半期の平均売上5トンを大幅に上回っている



3

WPICは、2020年プラチナ地金・コインへの投資需要が115%増で19トンになると予測

より厳しい自動車排出規制は2020年のプラチナ需要を後押しする可能性

1

中国の自動車産業は急速に回復しているため、プラチナ需要は依然として14%伸びる見込み

2

インドの地金ラートVI排出ガス規制は今年4月に施行され、プラチナ需要を増加させる可能性あり

3

EUのCO2排出量の削減対策は、依然として当該地域のプラチナ需要を維持し、さらに増加させると予想

4

パラジウムの対プラチナ価格のプレミアムが続き、コストダウンのプレッシャーは、ガソリン車触媒においてプラチナをパラジウムの代替とすることに拍車を掛ける見込み

(@wpicjapan)